北方領土クイズ

北方領土のこと、どれくらい知っていますか？

Q1 根室市の納沙布岬と、
歯舞群島の貝殻島との間の距離は何kmでしょうか？

A 3.7km　　B 37.4km　　C 144.5km

Q2 1855年、
日本とロシアの間で「日魯通好条約」が調印された日を
「北方領土の日」としていますが、何月何日でしょうか？

A 2月7日　　B 8月15日　　C 9月8日

Q3 第二次世界大戦の終戦時、
北方領土には何人の日本人が住んでいたでしょうか?

A 1,038人　　B 7,364人　　C 17,291人

答えは1番最後のパネルにあります。
ぜひ最後まで読んでみてください！

エリオくん

中学生・高校生の活動集

若い世代がたくさん活躍しています！

エリナちゃん

北方少年少女塾

この事業は北方領土隣接地域振興対策根室管内市町連絡協議会（通称北隣協）が主催するもので、根室管内の児童・生徒を対象に、北方領土問題の正しい理解と認識を身につけることを目的として平成13年度（2001年度）から始まりました。令和2年度（2020年度）までに、延べ464校、18,466人の児童・生徒の皆さんが参加しました。

事業の内容

〇北方領土関連施設の見学　〇納沙布岬からの北方領土望見
〇関連施設での北方領土問題学習
・元島民（2世・3世含む）による講話（北方領土の話、質疑応答）
・北方領土に関するビデオ研修（ニ・ホ・ロ）
・説明員または専門員からの各種展示物の解説

皆さんの中にも、
参加したことのある人がいるかも！？

ビザなし交流（四島交流）

北方領土問題の解決に向け相互理解が進むよう、旅券（パスポート）、査証（ビザ）なしによる日本国民と北方四島在住ロシア人との相互訪問（訪問・受入）が行われており、双方の中学生・高校生による交流も行われています。

根室管内の中学生・高校生参加状況（四島交流訪問）

区分	中学生	高校生	訪問先
令和元年度(2019年度)	15人	13人	択捉島、国後島
平成30年度(2018年度)	9人	4人	国後島
平成29年度(2017年度)	15人	5人	国後島、色丹島

令和2年度(2020年度)、令和3年度(2021年度)は、新型コロナウイルス感染症の影響により、全事業の実施が見送りとなりました。

根室管内の中学生・高校生も参加しています！

ある年の択捉島訪問行程（例）

1日目	（金）	根室港出港、入域手続き（国後島古釜布）後、択捉島へ向け出発、語り部（元島民）の講話、実践ロシア語講座、択捉島内岡沖到着	終日船内（船内泊）
2日目	（土）	島代表を表敬訪問、日本人墓地墓参、学校訪問・文化交流（班に分かれて料理・考古学体験、民芸品づくり等）、ホームビジット（班に分かれてロシア人家庭を訪問）	択捉島内（船内泊）
3日目	（日）	スポーツ交流会（少林寺拳法体験等）、意見交換会（テーマ：学校生活等）、見学（温泉・市街地）、夕食交流会、国後島古釜布へ向け出発	択捉島内（船内泊）
4日目	（月）	出域手続き（国後島古釜布）、根室港帰港	昼頃帰港

紗那墓地での墓参の様子です。訪問団全員で線香を手向け手を合わせました。

学校訪問では紗那学校を訪問し、ロシア料理教室や考古学体験教室などを体験し、生徒との交流を深めました。

スポーツ交流の様子です。団員による少林寺拳法、現地の子どもたちはまだ始めて間もない柔道を披露してくれました。

ヴァンナチカ温泉の見学の様子です。

北方領土根室研究会（根室高校）

北海道根室高等学校では、部活動の一環として、各種北方領土返還要求運動や啓発活動に参加・協力しています。

令和３年度部員数　２５名（３年生８名、２年生１２名、１年生５名）

活動内容

- ○道内外への北方領土出前講座の実施
- ○市民に向けたラジオ放送発信
- ○各種イベントでの署名活動の実施
- ○北方四島在住ロシア人との交流
- ○高校生弁論大会に出場　などなど…

ラジオ収録の様子

各種団体と協力し、様々な活動を行っています！

サポーター制度

北海道では、中高生など若い世代の人たちが、北方領土問題に興味や関心を持ち、返還要求運動に参加しやすい環境をつくるため、「北方領土サポーター」制度を創設しました。

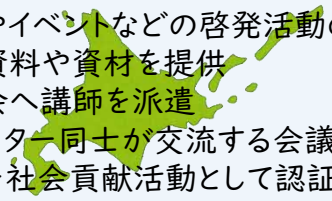
「北方領土サポーター」ってなに？

北方領土問題への興味や関心を持ち、北方領土返還要求運動に積極的に関わりたい、応援したいという気持ちを持った道内の中学生・高校生に、活動の場を提供します！

「北方領土サポーター」ってなにをするの？

北海道などが行う啓発活動（署名など）に参加して、その様子をSNSなどで発信していただいたり、北方領土についての勉強会を行うなど、できる範囲で活動していただきます。

北海道



- ○署名やイベントなどの啓発活動の情報を提供
- ○啓発資料や資材を提供
- ○勉強会へ講師を派遣
- ○サポーター同士が交流する会議を開催
- ○活動を社会貢献活動として認証　など

サポーター

- ○署名活動やイベントへ参加
- ○SNSなどでイベントの様子などを発信
- ○勉強会の実施　など

「北方領土サポーター」になるには

道内の中学校・高校に在学している方で、北方領土問題に興味や関心のある方なら、どなたでもなることができます。

サポーター申込先　**北海道総務部北方領土対策本部（TEL:011-204-5069、FAX:011-232-1780）**
詳しくは、右のＱＲコードからホームページをご覧ください。

エリヨシくん

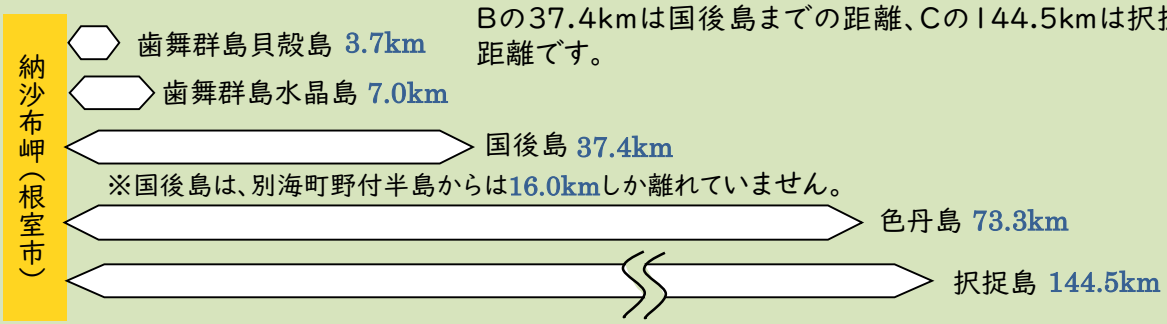
北方領土クイズの答え

いくつわかりましたか？

エリマルくん

A1　A　3.7km

最も近い歯舞群島の貝殻島までは、根室市の納沙布岬からわずか3.7kmしか離れておらず、肉眼で灯台を見ることができるほどです。Bの37.4kmは国後島までの距離、Cの144.5kmは択捉島までの距離です。



A2　A　2月7日

Bの8月15日は昭和20年（1945年）、日本がポツダム宣言を受諾し、降伏した日です。Cの9月8日は昭和26年（1951年）、サンフランシスコ平和条約が調印された日です。

A3　C　17,291人

Aの1,038人は色丹島に、Bの7,364人は国後島に終戦時住んでいた日本人の数です。択捉島の3,608人、歯舞群島の5,281人を合わせ、合計17,291人もの日本人が当時北方領土で暮らしていました。元島民の方々の平均年齢が86歳を超え、返還要求運動の衰退が懸念されています。